

●例題 18 関係を表す式

教科書p.74~75

次の数量の間の関係を、等式または不等式で表しなさい。

- (1) 1個 a 円のりんご2個の代金と、1個 b 円のみかん5個の代金は等しい。
- (2) x から y をひいたときの差は4以上である。

How

大きい関係を読みとる
言葉の式を書きとめる
文字の持ちかわらないなら、数字はそのまま計算はうとこめる
『どういふ計算をすれば、答えを出せるのか』を見つけたら
求めるものを『公式』を思い出す。

(1) a が 100 円 b が 40 円と仮定してみると、

100a x 2 = b 40 x 5

200 = 200 と等しい

文字を戻すと、

a x 2 = b x 5

2a = 5b と等しい

公式が導くと

代金 = 1個の値段 x 個数

りんごの代金 = みかんの代金

1個の値段 x 個数 = 1個の値段 x 個数

a x 2 = b x 5

A. 2a = 5b

(2) 以上 や 以下、きり

○は△以上 ○ ≥ △

○は△以下 ○ ≤ △

○は△より大きい ○ > △

○は△より小さい ○ < △

○は△未満 ○ < △

これは国語力も大事

どっちが大きいかな

しつこく読みとろうとこめまわ

理想を言えば、常に右を大きくする

にはよむ。『<』の向き

x から y をひいたときの差は4以上

計算の答え

x から y をひいたとき、○ ≥ 4

x - y ≥ 4

A. 4 ≤ x - y

●例題 19 等式や不等式が表すこと

教科書p.76

ある遊園地の入園料は、おとな a 円、中学生 b 円です。このとき、次の等式や不等式はどんなことを表していますか。

- (1) a - b = 600
- (2) a + b < 3000
- (3) 3a + 5b ≥ 9000

How

文字が表しているものを言葉に変えてみる
不等式は 以上 以下、などの表現を読みとる

(1) a - b = 600

a が表している ⇒ 大人の遊園地、入園料

b が表している ⇒ 中学生の遊園地、入園料

文字を言葉に変えると

大人の遊園地、入園料 - 中学生の遊園地、入園料 = 600

あるいは、これをこのように表現してもいい!

・ 大人の入園料から中学生の入園料をひくと、600円になる

・ 大人の入園料と中学生の入園料の差が600円になる

(2) a + b < 3000

文字を言葉に変えると

大人の遊園地、入園料 + 中学生の遊園地、入園料 < 3000

・ 大人と中学生の入園料は、あわせて3000円より少ない

・ 大人1人と中学生1人で入園したとき、3000円にかからない

(3) 3a + 5b ≥ 9000

文字を言葉に変えると

3 × 大人の遊園地、入園料 + 5 × 中学生の遊園地、入園料 ≥ 9000

・ 大人3人と中学生5人で入園したとき、9000円以上かかる

この表現は、学校の先生の指示に従おう。